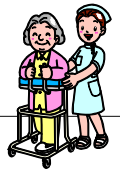
冠動脈ステント留置術（3泊4日）を受けられる患者さまへ

主治医　　受け持ち看護師

	月　日	月　日	月　日		月　日	月　日
	入院・検査前日		検査当日		治療後1日目	退院日
			検査前	検査後		検査後1日目または治療後2日目
目標	不安が軽減し、安心して検査が受けられる		合併症（出血）なく経過する			退院後の日常生活の注意点について理解することができる
処置 薬剤	□必要に応じ、点滴を開始します。 □カテーテルを入れる部位を毛ぞりします。 □お薬手帳を持参してください。 □入院中は、病院から内服を処方します。 		□寝衣をガウンタイプに着替えます。 □検査の前に点滴を始めます。 □薬は、（　　）時に、少量の水で飲んでください。 □中止する薬は（ あります ・ ありません ） ⇒中止する薬（　　） □検査に降りる前に、安定剤の内服があります。	□点滴を継続します。点滴終了後も、翌日の朝までは点滴ラインを残しておきます。 □時間ごとに血圧や脈拍の測定、カテーテルを入れた部位の観察を実施していきます。 	□点滴を抜きます。 □圧迫用のバンドを外していない場合は午前中医師が外します。 □通常通りに内服をしてください。	□必要時、退院処方があります。
検査	□必要時、心電図・レントゲン・血圧脈波・採血などの検査があります。		□検査は（　　）時頃からです。	□検査（治療）後、お部屋で心電図モニターを装着します。24時間装着する予定です。	□必要時、検査を行います。	
活動 安静度 保清	□病院内は、自由です。 □病棟外に出られるときは、看護師に声掛けをして下さい。 □シャワー浴をしてください。		□検査までは、なるべく安静にしましょう。 □カテーテル検査室（２階）までは車椅子または　ストレッチャーで移動します。 □検査前に排泄を済ませるようにしましょう。 □必要時、尿道カテーテルを入れます。 	**【腕・手首から検査を受ける場合】** □圧迫用のバンドで止血します。歩行可能ですが、動かしたり、ひねったりすると出血の危険性があるため安静を保てるようにしましょう。約6時間後にバンドを外します。医師または看護師が行います。 **【足の付け根から検査を受ける場合】** □検査前：尿道カテーテルを入れます。 □検査後：足を曲げると出血の危険性があるため、ご自分で体を動かしたりできません。主治医の許可があるまで、約６時間ベッド上安静となります。 □検査当日、シャワーはできません。 □安静度に応じて、排泄はトイレ又はベッド上になります。	□医師の指導のもと安静度が変わりますので、指示に従って下さい。 	□シャワー浴可能です。 □穿刺部位は、やさしく洗浄してください。
食事	□治療食が出ます。 □夕食後は間食を控えて下さい。		□午前の検査の場合　朝食が欠食です。 □午後の検査の場合　昼食が欠食です。 **□お水を飲むことも、食事を摂ることもできません**	□検査後は水分摂取や食事ができます。	□通常通りに食事摂取できます。	□可能な限り、治療食内容を継続してください。
患者様及び ご家族への 説明	□医師より検査について説明があります。 □心臓カテーテル検査の同意書を確認します。 □入院や検査のオリエンテーションを行います。 □入院診療計画書をお渡しします。 □転倒・転落チェックを行います。		□家族の方は、検査までにお越しください。 検査中・検査後も病室または病棟談話室で待機してください。 □検査前に貴重品や義歯は必ず取り外し、ご家族へ預けるようにしてください。 	□カテーテルを入れた部位の痛みやしびれがあれば連絡して下さい。 □検査（治療）終了後、ナースステーションに近い部屋にルーム移動することがあります。翌日には元のお部屋に戻ります。 		**《退院について・注意事項》** □退院時に次回外来の予約票と診察券をお渡しします。 □退院は10時頃になります。 □入院費用説明は担当が案内にきますので、部屋でお待ちください。 □看護師より退院処方、次回外来の説明や他病院宛ての診療情報提供書の手渡しがあります。 □退院後の注意点の説明を行います。 カテーテルを入れた部位からの出血・腫れ・痛みがあれば、救急外来連絡後、救急受診してください。 □入院費は約6～7万円です。 但し、加入保険により多少の差額がありますのでご了承ください。 琉球大学医学部付属病院　　9階東第3内科病棟 連絡先：098-895-3331（代）　　内線3901 **＊平日は内科外来へ連絡してください。**
入院時の 必要物品	□検査に必要な物品の説明を行います。 ①フィットショーツ　（必要時） ②ストロー、コップ　1個　　＊ローソンで購入できます ＊保険、診断書等の**書類は2階の診断書受付窓口へ** 提出してください					